

授業科目名 <英訳>	社会学(特殊講義) Sociology (Special Lectures)		担当者氏名	高等教育研究開発推進センター 教授 吉田 純					
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講期	前期	曜時限	火3	授業形態	特殊講義
題目	情報ネットワーク社会論								
【授業の概要・目的】									
ハーバーマス、ギデنز、ベックらの社会理論を基本的な枠組として、インターネット空間を中心とした情報ネットワーク社会の諸問題について考察する。									
【授業計画と内容】									
以下の順序で、各項目について1～3回の講義をおこなう。									
<ol style="list-style-type: none"> 1 情報ネットワーク社会への視点 2 日本社会/アメリカ社会における 情報化 3 CMC (Computer Mediated Communication) 空間の展開 4 生活世界のリアリティの再編成 5 再帰的近代化としての 情報化 6 監視社会論 7 リスク社会論 8 社会空間の再編成 9 親密圏・公共圏の再編成 									
【履修要件】									
社会学関係の全学共通科目または学部での概論科目を履修していることが望ましい									
【成績評価の方法・基準】									
中間・期末の2回のレポートによる（配点は中間30点・期末70点）									
【教科書】									
使用しない プリントを配布する									
【参考書等】									
（参考書） 授業中に紹介する									
（関連URL）									
https://socio.k.kyoto-u.ac.jp/sis (授業専用サイトで、資料配付、レポート提出、質問受付、その他の各種連絡をおこなう(ログインパスワードは初回の授業で通知する))									
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									

社会学(特殊講義)(2)

- 13) 近代経済学と機能主義社会学
- 14) 不平等と異質性の構造
- 15) 情報資本主義とネットワーク理論
- 16) まとめ：「2011年」は歴史の終わりか始まりか

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・基準】

- ・前期と後期にレポートを1回ずつ提出すること。(各50%)
- ・レポートは、授業中に言及した文献の中から各自が選択し(複数でも可)、その内容の要約60%と自分の考察40%の割合で作成することを基本とする。
- ・レポートの分量と締切は授業中に指示するが、教員に直接手渡すこと。
- ・提出されたレポートには評価とコメントをつけて返却する。また早めに提出されたものには再提出を認める。

【教科書】

授業中に指示する

【参考書等】

(参考書)
授業中に紹介する

(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))

授業では各項目の詳しい内容まですべて紹介できないので、各自が興味のある文献をできるだけ直接読んでほしい。また、読んだ内容をレポート(小論文)にまとめる方法も身につけていただきたい。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。